

うたしま
歌島川水系河川整備基本方針

平成 13 年 5 月

北 海 道

歌島川水系河川整備基本方針

目 次

1 . 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針	1
(1) 流域の概要	1
(2) 治水の現況	1
(3) 河川の利用の現況	1
(4) 流域の自然環境	1
(5) 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針	2
2 . 河川の整備の基本となるべき事項	3
(1) 基本高水並びにその河道及び洪水調節施設への配分に関する事項	3
(2) 主要な地点における計画高水流量に関する事項	3
(3) 主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係わる川幅に関する事項	4
(4) 主要な地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量 に関する事項	4
(参考図) 歌島川水系流域概要図	5

1. 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

(1) 流域の概要

歌島川水系は、その源を北海道島牧郡島牧村月越山脈の山麓に発し、歌島川第二支流、歌島川第一支流を合わせ、島牧村歌島において日本海に注いでおり、その流域面積は10.1km²、幹川の流路延長は5.5kmである。

河川名は、一説によると、アイヌ語のオタ・シュマ・ナイに由来し、「砂浜の石川」の意と言われている。

流域内の土地利用状況は、約80%が山林であり、河口付近の低平地には歌島地区の集落が形成されている。

(2) 治水の現況

本水系の治水事業は、一定規模による改修は行われず、災害復旧工事により護岸などが実施されてきた。

その後、平成5年7月12日の北海道南西沖地震による津波により、床上浸水1戸、床下浸水6戸の家屋被害が生じており、これを契機として平成10年より高潮対策事業に着手している。

(3) 河川の利用の現況

河川の利用については、釣りなどが行われているが、現在、水利用はされていない。

(4) 流域の自然環境

歌島川流域の気候は、海洋性の気候を呈し、降水量は8月～11月に多く、流域内に位置する島牧村の年平均降水量は約1,000mm、年平均気温は約9℃である。

流域の地質は、歌島川第二支流合流点より上流部では新第三紀の安山岩溶岩及び火砕岩、下流部は同じく新第三紀の砂岩・礫岩及び泥岩から構成されている。また、地形は、上流部では比較的急峻となっているが、下流部はなだらかな山地となっており、海岸線には標高20～30mの海岸段丘が認められ、そこに住居が集まっている。

歌島川流域の植生は、上中流域ではチシマザサ・ブナ群団が広がり、下流域ではエゾイタヤ・シナノキ群落を主体とした天然林である。

歌島川の中・上流部は山間部を流下し、急流で自然河川の状況を呈し、周辺にはエゾシカ、ヒグマ、キタキツネなどの哺乳類が確認されている。下流部では、河岸段丘上に農地や市街地が形成されており、河川沿いにはヤナギ類の河畔林が分布している。また、河道は直線的となっているが、早瀬や淵が連続して交互に形成され、サクラマス・ウグイなど多様な魚類が生息していることから、河口部では、釣りをする人々の姿が見られる。河口部直上流では、国道が河川と交差しており、河畔林は国道際まで迫り、連続した自然環境が形成されている。

(5) 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

河川の総合的な保全と利用に関する基本方針は、水害の発生状況、治水事業の現状、河川の利用状況ならびに河川環境を考慮し、次のとおりとする。

災害の発生の防止又は軽減に関しては、歌島川流域の社会・経済的な重要度と道内の他河川とのバランスを図りつつ、概ね30年に1回の確率で発生する規模の洪水の安全な流下を図るものとする。

また、平成5年7月12日に発生した北海道南西沖地震による津波被害を踏まえ、同規模の津波に対して被害の防止を図るものとする。

流水の正常な機能の維持に関しては、水質が良好であり、多様な魚類が生息していることから、関係機関との情報交換など流況の把握を継続し、現況流況の維持に努めるものとする。

河川環境の整備と保全に関しては、魚類の生息状況を踏まえるなど、動植物の生息・生育環境の観点から現況の良好な河川環境の保持に努めるものとする。

河川の維持管理については、災害の発生の防止、河川の適正な利用、流水の正常な機能の維持、河川環境の保全と整備等、総合的な観点から、適切な実施に努めるものとする。また、津波の遡上に備え、河川管理施設については、操作の確実性を確保するとともに、常にその機能が発揮できるよう施設を良好な状態に保持するものとする。

なお、以上の実施にあたっては、地域住民や各分野の専門家の意見を踏まえながら、河川の総合的な保全と利用に努めるものとする。

2. 河川の整備の基本となるべき事項

(1) 基本高水並びにその河道及び洪水調節施設への配分に関する事項

基本高水のピーク流量は、概ね 30 年に 1 回の確率で発生する規模の洪水を考慮して、歌島橋基準地点において 90m³/sとする。

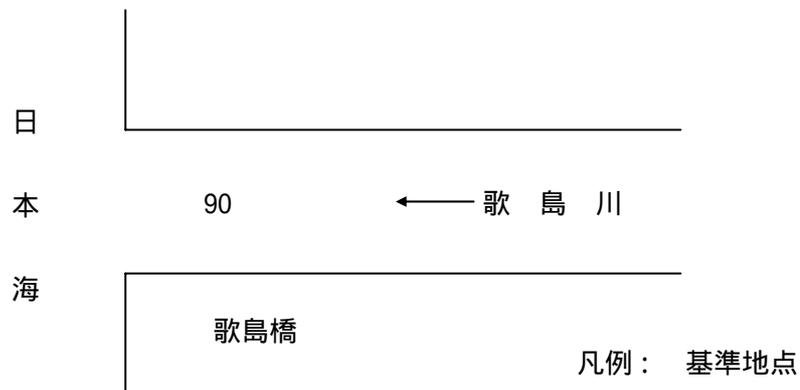
基本高水のピーク流量等一覧表

単位：m³/s

河川名	基準地点名	基本高水のピーク流量	洪水調節施設による調節流量	河道への配分流量
歌島川	歌島橋	90	—	90

(2) 主要な地点における計画高水流量に関する事項

歌島川における計画高水流量は、歌島橋地点において 90 m³/sとする。



計画高水流量配分図 (単位：m³/s)

(3) 主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る川幅に関する事項

本水系の主要な地点における計画高水位及び概ねの川幅は次表のとおりとする。

主要な地点における計画高水位及び川幅一覧表

河川名	地点名	河口からの距離 (km)	計画高水位 T.P. (m)	川幅 (m)	摘要
歌島川	歌島橋	0.02	+2.17	21	+5.60

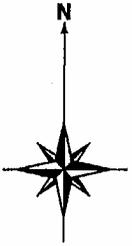
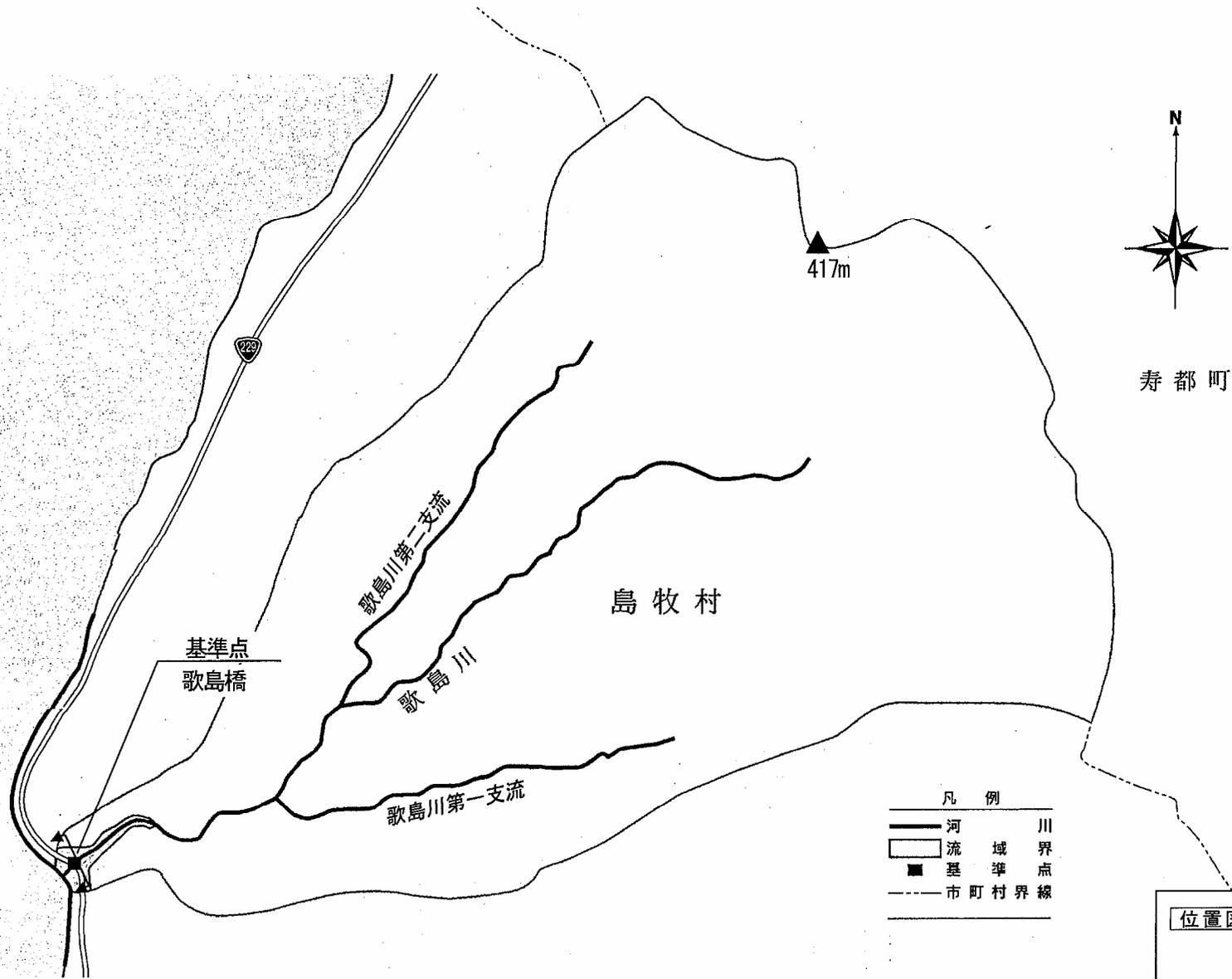
(注) T.P. : 東京湾中等潮位
: 計画津波高 T.P. (m)

(4) 主要な地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量に関する事項

歌島川は、水質が良好であり、多様な魚類が生息する河川である。

歌島川の流水の正常な機能の維持については、引き続き水質や動植物に関する調査を行うとともに、現況の河川環境の維持に努めるものとする。

日本海



寿都町

凡 例

—	河	川
□	流	域
■	基	準
---	市	町
---	村	界
---	線	

歌島川水系流域概要図

